

私たちが

ごみを減らすためにできること



エコクッキングで ごみ減量

私のごみの減量法は、食材を余すことなく使い切るエコクッキングです。家庭ごみの約3分の1以上は生ごみです。食べ残しや手つかずで捨てられるものも多く、水質汚染や環境汚染の元にもなっているそうです。

大根などを調理する際は、茎や葉まで工夫して食べる。残り物を捨てずに活用するなど、今まで捨てていた食材をもう一度見直してみましょう。

エコクッキングは、節水と財布にもやさしいです。少しの手間をかけることで環境がよくなります。命を支える食べ物を大事に上手に料理してごみを減らしていきましょう。

鏡石町ヘルスマイト(食生活改善推進員会)
佐藤良子さん



ごみを少しでも減らすために

現在は、生活が便利になった反面、私たちは物を大切にする意識が薄れてきており、ごみの量も増え、その種類もさまざまになりました。快適で住みよい社会とかげがえのない地球環境を守るためには、ごみを減らすことが大切です。今月号では、町内でごみを減らす取組みをしている方を紹介しながら、ごみを減らすために私たちにできることを考えてみましょう。

マイバック運動の 普及を

私のごみの減量法ですが、買い物に行く時、使い捨て用品など、できるだけごみになるものを買わないように心がけていることですかね。買い物をするときは、それが本当に必要かどうかチェックします。

また、できるだけマイバックを持参するようにしています。一回の買い物では、袋の枚数は数枚ですが、一年を通して考えるとたくさんのごみになります。町健康推進員会・女性団体連絡協議会では、現在、マイバック運動を展開しています。みなさんも、ぜひ、買い物時には、マイバックを持参してごみを少しでも減らしましょう。



町健康推進員会
根本レイ子さん

生ごみはEMボカシ で減量を

鏡石町EMエコの会では、EMぼかしで生ごみのリサイクルをしています。

EMボカシは、町福祉作業所でもつくっており暑い季節も快適に生ごみ処理できます。

放っておけば、ごみとして燃やされるだけの生ごみもEMぼかしでリサイクルすると優秀な堆肥に生まれ変わります。その堆肥で花や野菜をつくっています。EMボカシと容器さえあればこの家庭でも手軽に行えます。EMエコの会では、ごみの減量と環境にやさしい活動を今後とも続けていきたいと思っています。

なお、7月4日(火)午前9時30分から生ごみのリサイクル学習会を開催します。場所は、町老人福祉センターです。興味のある方は、お気軽に参加してみてください。



鏡石町EMエコの会
渡辺タミさん

※EMとは… <Effective Microorganisms>の頭文字を取ったもので、邦訳すると、有効微生物群。自然界に存在する微生物の中から作物生産に有効な乳酸菌などの微生物群を選び出して複合した培養液を指します。農産物の病害虫の発生抑制などさまざまな効果があります。

ごみを減らす 意識を持って

ごみを減らすためには、一人ひとりがごみを減らす意識を持つことが大切です。次のことに心がけましょう。

- ①ごみを減らすこと
使い捨て商品の購入を控えるなど、ごみになるものを増やさないようにしましょう。
- ②繰り返し使うこと
物を大切にし、壊れたら新しい物を買わず直せるものは修理して使いましょう。
- ③リサイクルすること
空き缶・ペットボトルなど資源ごみが燃えるごみに混じっていることがあります。ごみカレンダーを見て分別収集を徹底しましょう。また、子ども育成会の行っている集団回収に協力しましょう。

その他、最近ごみの出し方で町に苦情が寄せられています。空き缶、空き瓶などの資源物は、水でゆすいで出す。ごみは決められた日に出す。などのルールを守りましょう。

お問い合わせ先 町健康福祉課
62-2115

H17年度ごみ処理経費

ごみ処理費用(万円)	7,381
1年間に出るごみの量(t)	3,900
人口(年度末の住基人口)	12,978
町民一人当たりの処理費用(円)	5,687

みなさんの家庭から出されたごみは、須賀川地方衛生センターに集められ焼却・埋立処理されています。

平成17年度に町から出たごみの量は次のとおりです。

- 燃えるごみ 3,471t
(年間一人当たり 267kg)
- 燃えないごみ 170t
(年間一人当たり 13kg)
- 資源物 259t
(年間一人当たり 20kg)

この3つを合わせると年間3,900tのごみが出たことになり、平成16年度と比較すると約200t増えたこととなります。

また、これらのごみの処理には、年間約7,000万円(一人当たり約5,600円)の費用がかかっています。

**ごみの量は
年間3,900t**